10/28 赤旗

発覚次々 癒着底無し

宮内文科委員長 演壇に

宗教所管 〝点検〟報告せず

統一協会（世界平和統一家庭連合）が2019年に福岡県内で開いた集会で、自民党衆院議員の宮内秀樹・文部科学委員長（福岡4区）が演壇に立っている写真を、同協会がネットニュースに掲載していることが27日、本紙の調べで分かりました。宮内氏は集会参加を自民党の自主点検で報告していません。宗教を所管する文部科学委員会の委員長としての資格が問われています。（統一協会取材班）

19年の集会

問題の集会は、19年4月7日に福岡県宗像市で青年信者向けに開いた「ファミリーパワーフェスティバル青年3000名大会」。統一協会関連メディアによると主催は同協会の日本第5地区です。

統一協会のネットニュース「HJグローバルニュース」（19年4月13日）は、ひとりで壇上に立つ宮内議員の写真を複数、掲載しています。これによると、宮内議員は統一協会のマークを飾り付けた演台に立って話をしていました。

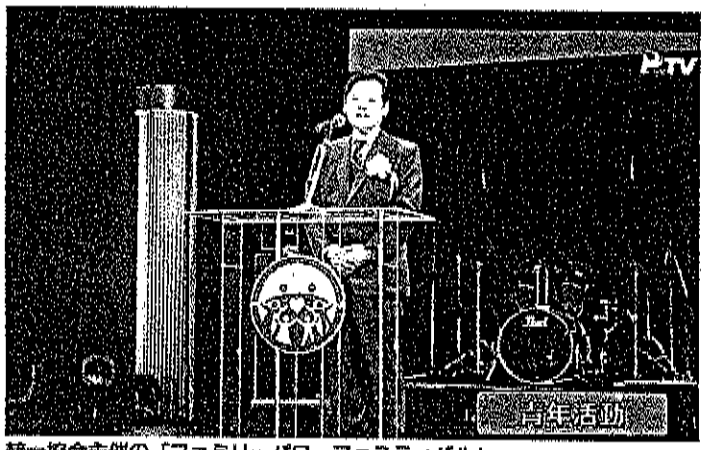
このニュースでは、話の内容は紹介されていません。ただアナウンサーは、参加した地域の指導者たちが「現代社会の危機を真の家庭運動を通して解決している家庭連合のビジョンを強く支持しました」と紹介しています。来賓参加者が統一協会の活動を支持した〝広告塔〟として扱われた形です。

自民党が9月に公表した自主点検には、宮内議員が統一協会関連団体であいさつしたと記載されています。他方で、同協会主催の会合への出席については報告がありません。

関連団体であいさつについては、「朝日」（9月10日付）が統一協会のダミー団体「九州平和大使協議会」の会合（19年7月）に出席したことを報じています。宮内議員は報じられた会合のみを自民党に報告した疑いがあります。

自民党の自主点検を巡っては、閣僚を辞任した山際大志郎・前経済再生担当相のように、報告していなかった統一協会との関係が相次いで発覚するなど、ずさんさが問題になっています。

集会参加などについて宮内議員に文書で質問しましたが、回答はありませんでした。



統一協会主催の「ファミリーパワーフェスティバル」で演壇にたつ自民党の宮内秀樹衆院議員＝2019年4月7日、福岡県宗像市（統一協会のピーステレビから）

統一協会 徹底追及

豊田副大臣あいさつ

田村智氏追及に開き直り

参院国交委

日本共産党の田村智子議員は27日の参院国土交通委員会で、豊田俊郎国交副大臣が統一協会（世界平和統一家庭連合）の韓鶴子総裁が出席した協会主催の集会であいさつした問題を追及し、集会に参加した経緯など統一協会との関係すべてを説明するよう求めました。

質問する田村智子議員＝27日、参院国交委

豊田俊郎国交副大臣（首相官邸サイトから）

豊田副大臣は自民党の「点検」で、「関連団体の会合への出席」を認めています。参加したのは2017年10月の「Peace Loving Festival KANAGAWA」です。

田村氏は、集会の主催者あいさつを日本の統一協会の徳野英治会長（当時）が行い、メインイベントは韓鶴子総裁の25分間の「お言葉」だったことを示し、「関連団体ではなく統一協会そのものの大集会であいさつしたのでは」とただしました。

豊田副大臣は「会合が旧統一協会に関するものとは認識していなかった」などと弁明しました。

田村氏は、集会で豊田氏が「韓鶴子総裁をお迎えしてメッセージをお聞きになると伺っている。皆さま方の運動の大きな飛躍の機会となることができるよう祈念」すると述べ、韓総裁が「幸福は与えれば与えるほど大きくなる」と呼びかけたことを指摘。これは高額献金につながるものだとして、「集会の動画は今も視聴できる状態だ。統一協会の集会に参加し、団体への期待を述べた重大性をどう認識するか」と迫りました。

豊田副大臣は「韓さんの演説は聞いていない」などと無責任な答弁に終始しました。